

2017/12/10

いよいよグローバル研修 in USA が始まりました。学校で出発式を済ませ、一同羽田空港に向かいます。到着予定時刻より 1 時間以上も早く到着し、しばし羽田空港内で自由時間を設けました。当分口にすることのない和食を堪能しようとレストランに向かう人、飛行機の離着陸を見る為に展望台で持参したお昼を食べる人。思い思いの時間を過ごし、日本に別れを惜しみました。この研修では、飛行機の乗り方も学びます。搭乗券の発券（一人ずつ機械で行います）や荷物のチェックイン、セキュリティチェックや搭乗場所の確認など、「もし一人だったらどのように行動するだろう」という気持ちを抱いてもらいながら行動しました。

飛行機は定刻通り羽田を飛び立ち、まずは経由地であるミネアポリスに向かいます。約 10 時間のフライト中、少し体調を崩してしまった生徒さんがいました。細気分が優れなく、機内で戻してしまいました。なんとなく頭痛がする・軽い吐き気がする、ただそれは研修に向けて緊張しているからだと思うと話聞いていたのですが、機内の揺れも相まってしまったようです。熱はなく、その後はスッキリしたようで、徐々に食欲も戻ってきました。ミネアポリスでは他の生徒さんと一緒にお店を回れるように回復出来ました。また、他にも機内のこもった空気に気持ちが悪くなってしまった生徒さんもいました。もともと密閉された空間のおいが苦手だと教えてくれました。なかなか食事が出来なかったようですが、飛行機を降りた後は元気を取り戻してくれました。もちろん、機内では約 10 時間のフライトを楽しむ生徒さんも多く見られました。英語の字幕で英語の映画を見る、学校の勉強（課題でしょうか）をする、英会話の本を読む、配られる機内食を味わう姿もありました。

ミネアポリスでも時間通りに飛行機が到着し、たっぷりと自由時間を設けることが出来ました。初めて外貨を使う人、マクドナルドのメニューの読み方が分からず悩むグループ、「お腹がすいてたまらない！」と何度も食事を買う姿も見られました。直前のフライトが長かったので、やはりそれなりに疲労は溜まります。徐々にイスに座った状態で眠りに落ちる一同…。もちろん安全には十分注意をするように説明をしています。先生方や ISA スタッフの近くの座席であること、グループの中には起きている生徒もいること。周囲をよく見ながらほんの少しいたたねに身を任せたのでした。

ミネアポリスからボストンまではあっという間です。フライト時間も短いのですが、何より眠気には勝てず、次々と夢の中に入っていきます。気が付いたら着陸していた！という生徒さんもいました。予定では現地時間の 21:20 に到着するはずでしたが、実際の到着は 20:30。ここでも余裕を持って行動することが出来ました。荷物をピックアップし、空港を後にして、今夜泊まるホテルに移動しました。ルームキーを配り、現地で使用する携帯電話の通話状態を確認しました。ようやくたどり着いたホテルです。皆説明を受けた後、

早速各々の部屋に向かっていきました。安堵の表情を浮かべていましたが、実はここからが研修本番です。早速部屋にルームキーを置いて出て来てしまったペアがありました。シャワーのお湯が止まらず、あわてて添乗員に電話をかけてくるペアもいました。「どうすれば良いですか？」と問われましたが、ここは思い切ってホテルのスタッフに聞いてみましょう！どんな言葉で伝えるのかと聞いていましたが、皆さん身振り手振り、一生懸命英語を使って会話が出来ました。こうした一つひとつの経験が生徒さんの成長につながると信じています。今はまだ単語しか出てこなくても、研修が進むにつれて英語を使うこと、他国の方とコミュニケーションを取れることの喜びを感じてくれると思います。

明日はいよいよ語学学校に移動します。到着早々プレイスメントテストを受ける予定です。寝不足と疲労がたまっている中でもベストを尽くしてもらいたいと思います。以上研修初日のご報告とさせていただきます。

出発式の様子



羽田空港出発



経由地のミネアポリス



そして機内では熟睡

